

# 生 活

発行者			教科書の記号・番号	判型 総ページ数	検定済年
番号	名称	略称			
2	東京書籍	東 書 ◆	生活 101 102	A 4 262	平成31年
4	大日本図書	大日本 ◆	生活 103 104	A B 282	
11	学校図書	学 図	生活 105 106	A 4 変型 256	
17	教育出版	教 出 ◆	生活 107 108	A B 276	
26	信州教育出版	信 教 ◆	生活 109 110	A B 232	
38	光村図書	光 村	生活 111 112	A B 258	
61	新興出版社啓林館	啓林館 ◆	生活 113 114	A B 290	
116	日本文教出版	日 文 ◆	生活 115 116	A B 280	

※ 「発行者 略称」欄にある◆は、「学習者用デジタル教科書」(学校教育法第34条第2項に規定する教材)の発行予定があることを示しています。

校 種	視覚障害特別支援学校	聴覚障害特別支援学校	肢体不自由・病弱特別支援学校	
児童の実態	<ul style="list-style-type: none"> <li>両眼の視力がおおむね0.3未満又は視力以外の視機能障害が高度で、拡大鏡等の使用によっても通常の文字、図形等の視覚による認識が不可能又は著しく困難な程度である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>両耳の聴力レベルがおおむね60デシベル以上で、補聴器等の使用によっても通常の話声を解することが不可能又は著しく困難な程度である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>肢体不自由の状態が補装具の使用によっても歩行、筆記等日常生活における基本的な動作が不可能又は困難な程度である。</li> <li>慢性の疾患等の状態が継続して医療又は生活規制を必要とする程度である。</li> </ul>	
観点				
内容の取扱い等	1 障害のある児童が興味・関心をもって取り組むことができる単元等	<ul style="list-style-type: none"> <li>触覚や聴覚等を活用して、体験的な活動が工夫できるもの。</li> <li>視覚障害の理解に関わる記述があるもの。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>視覚的な方法等を活用して、生活経験を広げるような学習活動が工夫できるもの。</li> <li>聴覚障害の理解に関わる絵や写真等があるもの。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>上肢の操作を伴うものであっても、体験的な学習活動が工夫できるもの。</li> </ul>
	2 障害への配慮を要する内容等	<ul style="list-style-type: none"> <li>視覚を頼りとする観察や体験等の学習活動があり、学習活動に困難が想定されるもの。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>言葉や音を聞き取る活動があり、学習活動に困難が想定されるもの。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>上肢の操作を伴うため、観察や体験等の学習活動に困難が想定されるもの。</li> <li>アレルギー疾患等に関わる配慮が必要なもの。</li> </ul>
構成上の工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>各ページの構成が統一されており、全体の把握が容易であるもの。</li> <li>写真が鮮明であり、枠囲み等が付けられているもの。</li> <li>絵の色彩が鮮明であるもの。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>聴覚の障害を補えるように、写真、図絵等で視覚的に説明しているもの。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>まひによる注視の困難を補えるように、各ページの構成が整理されているもの。</li> <li>通院等による学習空白を補えるように、学習のポイント等が大きな文字や枠囲み等で簡潔に記されていたり、各単元等のまとまりが記されていたりするもの。</li> <li>体験の不足を補うために、写真や絵で視覚的に学習活動が示されているもの。</li> <li>ページをめくる等の動作が難しい場合があるため、見開きページで学べるようになっているもの。</li> </ul>	

小学部 生活(視覚障害特別支援学校)

発行者		東書	大日本	学図
内 容	家庭及び地域の生活に関わる活動を取り上げた箇所数	297 最多	249	160
	自然と触れ合ったり関わったりする活動の箇所で取り上げられている栽培植物の種類数	29	28	26
	自然と触れ合ったり関わったりする活動の箇所で取り上げられている飼育動物の種類数	18 最多	13	9
	自分のよさや成長についての気付きの例の数	46	51	27
	安全に関する内容を取り上げている箇所数	242 最多	97	77
	発展的な内容を取り上げている箇所数	0 最少	10 最多	0 最少
	視覚障害のある児童が興味・関心をもって取り組むことができる単元等について ①触覚や聴覚等を活用して、体験的な活動が工夫できるもの。 ②視覚障害の理解にかかわる記述があるもの。	19箇所 ①上「はなのようすをつたえよう」では、花の成長の様子を細かく観察する方法として、触覚や聴覚を活用した活動が示してある。(P35) ②下「まちのくふう」では、写真を用いて、点字ブロックや音響用押ボタン、点字案内板の写真が示してある。(P70)	7箇所 ①上「あきとなかよし」では、葉を踏む音や形比べ、臭い比べがあり、触覚や聴覚、嗅覚を活用した活動が示してある。(P64) ②下「春の町はっけん」では、点字ブロックや音響用押しボタンの写真が示してある。(P24、25)	14箇所 ①上「わたしのあさがお」では、触察する活動が示してある。(P23) ②下「まちたんけん」では、点字ブロック、点字の写真が示してある。(P14)
視覚障害への配慮を要する内容等について ①視覚を頼りとする観察や体験等の学習活動があり、学習活動に困難が想定されるもの。	8箇所 ①下「ちがいをさがそう」では、イラストを見て、間違っただけを探している人を探す活動があるので、配慮を要する。(P22)	6箇所 ①上「かつこうとなかよし」では、付録を用いて見る活動があり、配慮を要する。(P8)	17箇所 ①上「もうすぐなつやすみ」では、やくそくごとがイラストのみで示してあり、配慮を要する。(P55)	
構 成 上 の 工 夫	本文の文字の大きさ	上:32ポイント 下:26ポイント	上:36ポイント 下:32ポイント	上:36ポイント 下:32ポイント
	ふりがな	上:全て平仮名 下:全て有	ページの初出有	ページの初出有
	折り込みページの箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
	障害の状態に応じた事項、その他 ①各ページの構成が統一されており、全体の把握が容易であるもの。 ②写真が鮮明であり、枠囲み等が付けられているもの。 ③絵の色彩が鮮明であるもの。	①単元ごとに「やくそく」の項目の記載があり、注意すべき内容が示してある。 ②下「秋や冬にもそだてよう」では、発芽の様子の写真が実物大で示してある。(P21) ③下「かつどうべんりてちょう」では、安全や道具の説明が4色刷りイラストで示してある。(P107~128)	①上巻末「かくしゅうどうぐばこ」では、安全に関することがまとめて示してある。(P106) ②上「むしのふしぎをみつけたよ」では、昆虫の顔を正面から撮影した、鮮明な画像が示してある。(P51) ③上「いきものとなかよし」では、飼育小屋の様子が4色刷りイラストで示してある。(P17)	①上「わたしのあさがお」では、見開きの右端の同位置に、花の品種ごとの「種、芽、花、種」の変化を示してある。(P19、23、27、29、33) ②下「生きものと友だち」では、見開き2ページの幅で写真が示してあり、重ねてある写真は白枠で囲みがある。(P56、57) ③下「はっぴょう会をするよ」では、発表会の様子を4色刷りイラストで示してある。(P22、23)
④安全・衛生への配慮箇所数	55箇所	24箇所	13箇所	

小学部 生活(視覚障害特別支援学校)

発行者		教出	信教	光村	
内 容	家庭及び地域の生活に関わる活動を取り上げた箇所数	187	136 最少	216	
	自然と触れ合ったり関わったりする活動の箇所で取り上げられている栽培植物の種類数	22	2 最少	31 最多	
	自然と触れ合ったり関わったりする活動の箇所で取り上げられている飼育動物の種類数	9	6 最少	6 最少	
	自分のよさや成長についての気付きの例の数	54	11 最少	33	
	安全に関する内容を取り上げている箇所数	92	28 最少	71	
	発展的な内容を取り上げている箇所数	6	0 最少	0 最少	
	視覚障害のある児童が興味・関心をもって取り組むことができる単元等について ①触覚や聴覚等を活用して、体験的な活動が工夫できるもの。 ②視覚障害の理解にかかわる記述があるもの。	7箇所 ①上「きれいにさいてね わたしのはな」では、育てた花の種を収穫する活動が示してある。(P41) ②下「わたしの まちの くふう」では、点字ブロックや音響用押しボタンの写真が示してある。(P44)	3箇所 ①上「かってみたいな」では、生き物の飼育で、生き物に触れる活動が示してある。(P46) ②下「人に やさしい 町」では、点字ブロックや音の出る信号機が示してある。(P25)	3箇所 ①上「なつを たのしもう」では、裸足で芝生に立ってみたり、寝転がったりする活動が示してある。(P48、49) ②なし	
	視覚障害への配慮を要する内容等について ①視覚を頼りとする観察や体験等の学習活動があり、学習活動に困難が想定されるもの。	7箇所 ①上「あきを見つけにいこう」では、写真を見比べてどんぐりの帽子と本体を結び付ける活動があり、配慮を要する。(P77)	10箇所 ①上「はるとなかよし」では、見開きや折り込みページ全体に絵と写真のみで構成されているため、配慮を要する。(P26～31)	4箇所 ①下「よく見ると、おもしろいよ」では、ダンゴムシの足が何本か数える場面があり、配慮を要する。(P42、43)	
	構成上の工夫	本文の文字の大きさ	上下ともに24ポイント	上下ともに18ポイント	上:32ポイント 下:30ポイント
		ふりがな	全て有	上:一部有 下:初出有	上:ページの初出有 下:ページの初出有 (既習は無)
折り込みページの箇所数		0箇所	上:10箇所 下:2箇所	上:2箇所 下:0箇所	
障害の状態に応じた事項、その他 ①各ページの構成が統一されており、全体の把握が容易であるもの。 ②写真が鮮明であり、枠囲み等が付けられているもの。 ③絵の色彩が鮮明であるもの。		①上「もっとそだてたいね」では、花の品種ごとの「種、芽、花」の変化を写真で示してある。(P44) ②下「野さいとくだもののクイズ」では、野菜や果物の全体図や断面図の写真が示してある。(P22、23) ③上「のはら ずかん」では、様々な昆虫が概ね実寸大のイラストで示してある。(P58、59)	①上下とも、全ての単元が、見開きで学べるようになっていいる。 ②上「わたしの あさがお」では、あさがおの発芽の瞬間の写真がページの約半分の大きさを示してある。(P40) ③上「おはなし ききたいな」では、図書室や保健室の様子が4色刷りイラストで示してある。(P20、21)	①下「小さなともだち」では、生き物の飼育の工夫を示している。(P40) ②上「かってみたいな、できるかな」では、様々な花の種の写真が、開花時の写真と共に掲載されている。(P30、31) ③下「こまったときは、みんなでそうだん」では、野菜を育てる際の工夫がイラストで示してある。(P26、27)	
④安全・衛生への配慮箇所数	27箇所	5箇所	17箇所		

小学部 生活(視覚障害特別支援学校)

発行者		啓林館	日文	
内 容	家庭及び地域の生活に関わる活動を取り上げた箇所数	171	211	
	自然と触れ合ったり関わったりする活動の箇所で取り上げられている栽培植物の種類数	18	27	
	自然と触れ合ったり関わったりする活動の箇所で取り上げられている飼育動物の種類数	13	13	
	自分のよさや成長についての気付きの例の数	86 最多	30	
	安全に関する内容を取り上げている箇所数	119	168	
	発展的な内容を取り上げている箇所数	2	1	
	視覚障害のある児童が興味・関心をもって取り組むことができる単元等について ①触覚や聴覚等を活用して、体験的な活動が工夫できるもの。 ②視覚障害の理解にかかわる記述があるもの。	14箇所 ①上「あきの校ていに出てみよう」では、季節感を音や匂いなどで感じる活動が示してある。(P76、77) ②下「町のくふうを見つけよう」では、白杖、盲導犬、点字ブロック、点字の写真が示してある。(P120、121)	14箇所 ①上「ふゆをかんじよう」では、氷に触ったり、聞こえてくる音から冬の遊びを考えたりする活動が示してある。(P106、107) ②下「いろいろな町のくふう」では、点字ブロックや町にある物の写真と、実際に読める点字が示してある。(P134、135)	
	視覚障害への配慮を要する内容等について ①視覚を頼りとする観察や体験等の学習活動があり、学習活動に困難が想定されるもの。	4箇所 ①上「わくわくほくす なにがあるかな？」では、絵のみが示してあり、配慮を要する。(P36、37)	12箇所 ①下「みんながつかう場しよへ行ってみよう」では、イラストの上に写真が重ねてあり、配慮を要する。(P14、15)	
	構成上の工夫	本文の文字の大きさ	上下ともに28ポイント	上下ともに24ポイント
		ふりがな	全て有	全て有
折り込みページの箇所数		0箇所	0箇所	
障害の状態に応じた事項、その他 ①各ページの構成が統一されており、全体の把握が容易であるもの。 ②写真が鮮明であり、枠囲み等が付けられているもの。 ③絵の色彩が鮮明であるもの。		①上、「きになるはしよにいてみよう」では、単元名がページ上部に示してある。(P8) ②下「大きくそだてわたしの野さい」では、野菜の全体と断面の写真が示してあり、二次元コードで補足してある。(P15) ③上「生きものそだてかた」では、飼育環境をイラストで示してある。(P70、71)	①上「きれいなはなをさかせたい」では、ページの端に「種、つぼみ、花、実」の変化を、上下同じ位置に示してある。(P37～P44) ②上「ふゆのあそびずかん」では、遊びの実際の様子を示す写真が、枠囲みがついて示してある。(P112、113) ③下「ぐんぐんそだてみんなの野さい」では、種と芽の写真とともに、実物のような色合いの野菜のイラストが示してある。(P36)	
④安全・衛生への配慮箇所数		36箇所	38箇所	

小学部 生活(聴覚障害特別支援学校)

発行者		東書	大日本	学図	
内容	家庭及び地域の生活に関わる活動を取り上げた箇所数	297 最多	249	160	
	自然と触れ合ったり関わったりする活動の箇所で取り上げられている栽培植物の種類数	29	28	26	
	自然と触れ合ったり関わったりする活動の箇所で取り上げられている飼育動物の種類数	18 最多	13	9	
	自分のよさや成長についての気付きの例の数	46	51	27	
	安全に関する内容を取り上げている箇所数	242 最多	97	77	
	発展的な内容を取り上げている箇所数	0 最少	10 最多	0 最少	
	聴覚障害のある児童が興味・関心をもって取り組むことができる単元等について ①視覚的な方法等を活用して、生活経験を広げるような学習活動が工夫できるもの。 ②聴覚障害の理解にかかわる絵や写真等があるもの。	16箇所 ①上「たのしいあきいっぱい」では、電子黒板や書画カメラを活用して発表する活動を示してある。(P74) ②下「みんなでつかう町のしせつ」では、まちの工夫として筆談に対応する耳マークの写真がある。(P70)	18箇所 ①下「春の町のはっけん」では、クイズや電子黒板、地図などを活用した発表活動を取り上げている。(P26、27) ②なし	13箇所 ①下「わたしたちの野さいばたけ」では、本やインターネットで調べる方法を写真で示してある。(P39) ②下「まちたんけん」では、町の工夫の例で、手話を使った授業の写真とあいさつの手話のイラストが示してある。(P15)	
	聴覚障害への配慮を要する内容等について ①言葉や音を聞き取る活動があり、学習活動に困難が想定されるもの。	5箇所 ①上「きれいにさいてね」では、観察の仕方について、草の音を聞く活動の写真があり、配慮を要する。(P35)	11箇所 ①下「はっけんしたよ いろいろな しごと」では、話を聞く活動があり、配慮を要する。	6箇所 ①下「わたしたんけん」では、電話で聞き取る活動があり、配慮を要する。(P95)	
	構成上の工夫	本文の文字の大きさ	上:32ポイント 下:26ポイント	上:36ポイント 下:32ポイント	上:36ポイント 下:32ポイント
		ふりがな	上:全て平仮名 下:全て有	ページの初出有	ページの初出有
折り込みページの箇所数		0箇所	0箇所	0箇所	
障害の状態に応じた事項、その他 ①聴覚の障害を補えるように、写真、図絵等で視覚的に説明しているもの。		①下「どきどきわくわくまちたんけん」では、話し方について、イラストや写真、文字で示してある。(P31)	①上「ふゆとなかよし」では、「せいかつことば」として、雪に関する様々な表現を示してある。(P87)	①上下巻末に「生活科学び方図かん」として学習の仕方をイラストでまとめて示してある。	
②安全・衛生への配慮箇所数		55箇所	24箇所	13箇所	

小学部 生活(聴覚障害特別支援学校)

発行者		教出	信教	光村	
内容	家庭及び地域の生活に関わる活動を取り上げた箇所数	187	136 最少	216	
	自然と触れ合ったり関わったりする活動の箇所で取り上げられている栽培植物の種類数	22	2 最少	31 最多	
	自然と触れ合ったり関わったりする活動の箇所で取り上げられている飼育動物の種類数	9	6 最少	6 最少	
	自分のよさや成長についての気付きの例の数	54	11 最少	33	
	安全に関する内容を取り上げている箇所数	92	28 最少	71	
	発展的な内容を取り上げている箇所数	6	0 最少	0 最少	
	聴覚障害のある児童が興味・関心をもって取り組むことができる単元等について ①視覚的な方法等を活用して、生活経験を広げるような学習活動が工夫できるもの。 ②聴覚障害の理解にかかわる絵や写真等があるもの。	7箇所 ①上「きせつとなかよし あき」では、幼稚園の友達を招待する活動を計画する際の思考を、視覚化する方法を示してある。(P87) ②なし	13箇所 ①下「わたしたちがすむ町」では、見学の際にカメラを活用している。(P19) ②下「わたしたちがすむ町」では、挨拶の手話をイラストで示してある。(P25)	8箇所 ①下「広がれわたし」では、発表の方法として巻物、ランキング、新聞、すごろくを示してある。(P92、93) ②なし	
	聴覚障害への配慮を要する内容等について ①言葉や音を聞き取る活動があり、学習活動に困難が想定されるもの。	6箇所 ①下「えがおいっぱいほっぴょう会」では、地域の方を招いて発表する際に、手話などの配慮を要する。(P74、75)	3箇所 ①上「たなばた」では、電話で聞き取る活動があり、配慮を要する。(P52)	3箇所 ①上「きせつのおくりもの」では、夜間に虫の鳴き声を聴く活動があり、配慮を要する。(P117)	
	構成上の工夫	本文の文字の大きさ	上下ともに24ポイント	上下ともに18ポイント	上:32ポイント 下:30ポイント
		ふりがな	すべて有	上:一部有 下:初出有	上:ページの初出有 下:ページの初出有 (既習は無)
折り込みページの箇所数		0箇所	上:10箇所 下:2箇所	上:2箇所 下:0箇所	
障害の状態に応じた事項、その他 ①聴覚の障害を補えるように、写真、図絵等で視覚的に説明しているもの。		①上「かぞく にこにこ 大きくせん」では、一日の生活を時系列に、イラストで示してある。(P94、95)	①下「いっぱいみのったね」では、大豆から作られる物を写真で示してある。(P60)	①上「さかせたいなわたしのはな」では、学習の振り返りで児童が気が付いたことを、話し言葉で説明している場面が示してある。(P42、43)	
②安全・衛生への配慮箇所数	27箇所	5箇所	17箇所		

小学部 生活(聴覚障害特別支援学校)

発行者		啓林館	日文	
内容	家庭及び地域の生活に関わる活動を取り上げた箇所数	171	211	
	自然と触れ合ったり関わったりする活動の箇所で取り上げられている栽培植物の種類数	18	27	
	自然と触れ合ったり関わったりする活動の箇所で取り上げられている飼育動物の種類数	13	13	
	自分のよさや成長についての気付きの例の数	86 最多	30	
	安全に関する内容を取り上げている箇所数	119	168	
	発展的な内容を取り上げている箇所数	2	1	
	聴覚障害のある児童が興味・関心をもって取り組むことができる単元等について ①視覚的な方法等を活用して、生活経験を広げるような学習活動が工夫できるもの。 ②聴覚障害の理解にかかわる絵や写真等があるもの。	27箇所 ①上「いくぞ！がっこうたんけんたい」では、校舎にある物をシルエットで示してある。(P5) ②下「町のくふうを見つけよう」では、挨拶の手話と点字をイラストで示してある。(P121)	21箇所 ①上「もうすぐ2年生」では、自分の成長を友達に伝える方法として、実物大の自分の絵を描く活動を示してある。(P118) ②下「いろいろな町のくふう」では、町にある物の写真や挨拶の手話のイラストが示してある。(P135)	
	聴覚障害への配慮を要する内容等について ①言葉や音を聞き取る活動があり、学習活動に困難が想定されるもの。	18箇所 ①上「なつとなかよし」では、雨の音を聞く活動があり、配慮を要する。(P53)	11箇所 ①上「きせつとあそぼうーふゆー」では、目を閉じて音を聞いたり、聞こえた音を書いたりする活動があり、配慮を要する。(P107)	
	構成上の工夫	本文の文字の大きさ	上下ともに28ポイント	上下ともに24ポイント
		ふりがな	すべて有	すべて有
折り込みページの箇所数		0箇所	0箇所	
障害の状態に応じた事項、その他 ①聴覚の障害を補えるように、写真、図絵等で視覚的に説明しているもの。		①上「どうぶつとなかよくなるう」では、モルモットの抱き方を絵と文字で示してある。(P67)	①上「きれいなはなをさかせたい」では、種のまき方の手順をイラストで示してある。(P38)	
②安全・衛生への配慮箇所数		36箇所	38箇所	

小学部 生活(肢体不自由・病弱特別支援学校)

発行者		東書	大日本	学図
内	家庭及び地域の生活に関わる活動を取り上げた箇所数	297 最多	249	160
	自然と触れ合ったり関わったりする活動の箇所で見られる栽培植物の種類数	29	28	26
	自然と触れ合ったり関わったりする活動の箇所で見られる飼育動物の種類数	18 最多	13	9
	自分のよさや成長についての気付きの例の数	46	51	27
	安全に関する内容を取り上げている箇所数	242 最多	97	77
	発展的な内容を取り上げている箇所数	0 最少	10 最多	0 最少
容	肢体不自由・病弱の児童が興味・関心をもって取り組むことができる単元等について ①上肢の操作を伴うものであっても、体験的な学習活動が工夫できるもの。	13箇所 ①上「むしと なかよくなるう」では、飼育ケースに入れた昆虫などの動きを観察する活動が示してある。(P60)	11箇所 ①上「やさしいハンコ」では、野菜の断面を利用することで様々な模様のハンコを作る活動が示してある。(P125)	4箇所 ①下「何をそだてようかな」では、野菜の育て方を地域の人に聞いたり、インターネットで調べたりするなど、様々な調べ方が示してある。(P39)
	肢体不自由・病弱への配慮を要する内容等について ①上肢の操作を伴うため、観察や体験等の学習活動に困難が想定されるもの。 ②アレルギー疾患等にかかわる配慮が必要なもの。	27箇所 ①上「たのしいあきいっぱい」では、コマ作りにおいて、はさみや錐(きり)を使う活動があり、配慮を要する。(P80) ②上「いきものとなかよし」では、モルモットやハムスターに触れる活動があり、配慮を要する。(P64)	13箇所 ①下「おもちゃを作ってみよう」では、紙とんぼを飛ばす活動があり、上肢の操作を伴うため、体験に困難が想定される。(P75) ②上「いきものとなかよし」では、野外で昆虫などを採集する活動があり、配慮を要する。(P46)	27箇所 ①上「なにをつくろうかな」では、両手動作で錐(きり)を使用する活動があり、困難が予想される。(P64) ②下「見つけた 見つけた」では、昆虫を手で触る活動があり、配慮を要する。(P59)
構成上の工夫	本文の文字の大きさ	上:32ポイント 下:26ポイント	上:36ポイント 下:32ポイント	上:36ポイント 下:32ポイント
	ふりがな	上:全て平仮名 下:全て有	ページの初出有	ページの初出有
	折り込みページの箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
	障害の状態に応じた事項、その他 ①まひによる注視の困難を補えるように、各ページの構成が整理されているもの。 ②通院等による学習空白を補えるように、学習のポイント等が大きな文字や枠囲み等で簡潔に記されていたり、各単元等のまとめが記されていたりするもの。 ③体験の不足を補うために、写真や絵で視覚的に学習活動が示されているもの。 ④ページをめくる等の動作が難しい場合があるため、見開きページで学べるようになっているもの。	①上「きれいにさいてね」では、ページの左端に複数種類の植物の、種、芽、蕾、花、実の写真が並べて示してある。(P28) ②上下巻それぞれの巻末には、「かつどうべんりてちょう」があり、学習したテーマについて、イラストや写真を用いて説明してある。 ③上巻巻末に「ほんどうのおおきさポケット図鑑」があり、植物や昆虫などが実寸大のイラストで示してある。 ④単元ごとに、見開きで学べる箇所がある。(下巻P28、29など)	①下「みんなでそだてて食べたいな」では、ページ下部に野菜のイラストを示し、ページ上部にその野菜を使った料理の写真が配置してある。(P18、19) ②上下巻末に、「かくしゅうどうぐばこ」として各単元の内容に関連した事項をまとめてある。 ③夜の町の様子を、黒い紙で背景に使い示してある。(下P113) ④全てのページが見開きで学べるようになっている。	①上「わたしのあさがお」では、種から発芽などの流れがページ右端にまとめて示してある。(上P19、23など) ②上「まなびかたずかん」として、学び方のポイントがまとめて示してある。(上P114) ③下「ものしりノート」では、野菜の育て方がイラストで示してある。(P42、43) ④全てのページが見開きで学べるようになっている。
	⑤安全・衛生への配慮箇所数	55箇所	24箇所	13箇所



小学部 生活(肢体不自由・病弱特別支援学校)

発行者		教出	信教	光村
内	家庭及び地域の生活に関わる活動を取り上げた箇所数	187	136 最少	216
	自然と触れ合ったり関わったりする活動の箇所で見られる栽培植物の種類数	22	2 最少	31 最多
	自然と触れ合ったり関わったりする活動の箇所で見られる飼育動物の種類数	9	6 最少	6 最少
	自分のよさや成長についての気付きの例の数	54	11 最少	33
	安全に関する内容を取り上げている箇所数	92	28 最少	71
	発展的な内容を取り上げている箇所数	6	0 最少	0 最少
	肢体不自由・病弱の児童が興味・関心をもって取り組むことができる単元等について ①上肢の操作を伴うものであっても、体験的な学習活動が工夫できるもの。	4箇所 ①下「しらべよう」では、デジタルカメラ等を活用して記録する方法が示してある。(P123)	3箇所 ①下「わたしたちがすむ町」では、デジタルカメラで記録したり、大型ディスプレイを使用して発表したりする活動が示してある。(P19)	3箇所 ①下「あそんでためしてくふうして」では、箱を並べたり、コップを積んだりする活動が示してある。(P50、51)
容	肢体不自由・病弱への配慮を要する内容等について ①上肢の操作を伴うため、観察や体験等の学習活動に困難が想定されるもの。 ②アレルギー疾患等にかかわる配慮が必要なもの。	13箇所 ①下「うごかしてあそぼう」では、両手動作で輪ゴムを飛ばす活動があり、困難が予想される。(P86) ②上「生きものをさがそう」では、飼育動物や昆虫等に触れる活動があり、配慮を要する。(P65)	19箇所 ①上「てづくりおもちゃ」では、鋏(はさみ)や錐(きり)を使用する場面のイラストがあり、使用の際には配慮が必要である。(P119) ②下「いきものといっしょ③」では、山羊に触れる場面があり、配慮を要する。(P31)	19箇所 ①下「あそんでためしてくふうして」では、錐(きり)を使って製作するおもちゃを取り上げており、実際に活動する際には配慮が必要である。(P55) ②上「いきものとなかよし」では、モルモットに触れる活動があり、配慮を要する。(P65)
	本文の文字の大きさ	上下ともに24ポイント	上下ともに18ポイント	上:32ポイント 下:30ポイント
構成上の工夫	ふりがな	すべて有	上:一部有 下:初出有	上:ページの初出有 下:ページの初出有 (既習は無)
	折り込みページの箇所数	0箇所	上:10箇所 下:2箇所	上:2箇所 下:0箇所
	障害の状態に応じた事項、その他 ①まひによる注視の困難を補えるように、各ページの構成が整理されているもの。 ②通院等による学習空白を補えるように、学習のポイント等が大きな文字や枠囲み等で簡潔に記されていたり、各単元等のまとまりが記されていたりするもの。 ③体験の不足を補うために、写真や絵で視覚的に学習活動が示されているもの。 ④ページをめくる等の動作が難しい場合があるため、見開きページで学べるようになっているもの。	①上「なにをかんだかな」では、見開きの右端に「まんぞくはしご」を配置し、各単元の理解度を考える活動を示してある。(P21、91など) ②目次に、各単元を学習する時期を線表で示してある。(上P7、下P1) ③上「もっとそだてたいね」では、球根と芽、花を関連させて写真で示してある。(上P44) ④単元ごとに、見開きで学べる箇所がある。(下巻P52など)	①単元で取り扱う内容ごとに、共通した背景色を用いて、単元名を枠囲みで示してある。(上P13、44、56など) ②学校生活での安全について、考えさせるイラストを枠囲みで示してある。(上P12、64、113など) ③下「みんなで行こう」では、バスや電車の利用方法を写真やイラストで示してある。(P68、69、70など) ④全てのページが、見開きで学べるようになっている。	①上「なかよしいっぱいだいさくせん」では、ページ上部に、校舎など学校施設のイラストを配置し、下部に写真を配置して、示してある。(P17) ②上下の巻末に「ひろがるせいかつてん」として、学習した内容のまとめが記載してある。 ③上「さかせたいなわたしのはな」では、種まきの方法を写真やイラストを使って示してある。(P32) ④全てのページが、見開きで学べるようになっている。
	⑤安全・衛生への配慮箇所数	27箇所	5箇所	17箇所

小学部 生活(肢体不自由・病弱特別支援学校)

発行者		啓林館	日文
内	家庭及び地域の生活に関わる活動を取り上げた箇所数	171	211
	自然と触れ合ったり関わったりする活動の箇所で取り上げられている栽培植物の種類数	18	27
	自然と触れ合ったり関わったりする活動の箇所で取り上げられている飼育動物の種類数	13	13
	自分のよさや成長についての気付きの例の数	86 最多	30
	安全に関する内容を取り上げている箇所数	119	168
	発展的な内容を取り上げている箇所数	2	1
	肢体不自由・病弱の児童が興味・関心をもって取り組むことができる単元等について ①上肢の操作を伴うものであっても、体験的な学習活動が工夫できるもの。	14箇所 ①上「がくしゅうずかん」では、視覚、触覚、嗅覚、聴覚等を用いた観察の仕方を、イラストと写真で説明してある。(P120)	12箇所 ①下「手紙の書き方 電話のかけ方」では、電話のかけ方がイラストで示してある。(P119)
容	肢体不自由・病弱への配慮を要する内容等について ①上肢の操作を伴うため、観察や体験等の学習活動に困難が想定されるもの。 ②アレルギー疾患等にかかわる配慮が必要なもの。	22箇所 ①上「ひろがれえがお」では、コマ回し、けん玉、あやとりなどの活動があり、配慮を要する。(P96) ②上「生きもの大すき」では、モルモットを抱く活動があり、配慮を要する。(P66)	18箇所 ①上「そだてるはなをきめよう」では、教科書を折り込むことで関連をみることができる誌面上の工夫があるが、操作の困難が予想される。(P37) ②上「生きものとふれあおう」では、モルモットや昆虫に触る活動があり、配慮を要する。(P70)
	本文の文字の大きさ	上下ともに28ポイント	上下ともに24ポイント
構成上の工夫	ふりがな	すべて有	すべて有
	折り込みページの箇所数	0箇所	0箇所
	障害の状態に応じた事項、その他 ①まひによる注視の困難を補えるように、各ページの構成が整理されているもの。 ②通院等による学習空白を補えるように、学習のポイント等が大きな文字や枠囲み等で簡潔に記されていたり、各単元等のまとまりが記されていたりするもの。 ③体験の不足を補うために、写真や絵で視覚的に学習活動が示されているもの。 ④ページをめくる等の動作が難しい場合があるため、見開きページで学べるようになっているもの。	①単元名等が見開きページの左上に、本文より大きな文字で記載してある。 ②上下の巻末には、「がくしゅうずかん」として、学習したテーマについて、イラストや写真を用いて示してある。 ③上「げんきにそだてわたしのはな」では、種のまき方について4枚の連続したイラストで示してある。(P25) ③下「大きくそだてわたしの野さい」では、苗の植え方を、4枚のイラストで示してある。(P19) ④全てのページが、見開きで学べるようになっている。	①各単元のまとまりを示すイラストが、見開きの左端上に単元ごとに異なる背景色で示してある。(上P46など) ②巻末に「ちえとわざのたからばこ」として、学び方、しぜん・生活、ポイントずかんなどが、項目ごとにまとめて示してある。(下P112) ③下「生きもの図鑑」では、昆虫の一生のサイクルが写真で示してある。(下 P52～55) ④全てのページが見開きで学べるようになっている。
	⑤安全・衛生への配慮箇所数	36箇所	38箇所